

# STOP! THE ハッ場ダムニュース

— やんば —



IN埼玉

No.31 2011.3.12.

● ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会・代表 藤永知子 ●

## ハッ場ダム事業の客観的・科学的で公正な検証を求める

全国の83ダムと共に検証作業が進められているハッ場ダムは、ダム事業者である関東地方整備局による検証であるため、今秋に予定されている検証結論は予断を許さない状況です。埼玉の会では、弁護団とともに、利水や治水そしてダム予定地の地質の問題など様々なデータをもとにハッ場ダム問題に取り組み、必要性の失われたハッ場ダム建設の一刻も早い中止を求め活動してきました。提訴から6年費やした「公金差し止め」の埼玉住民訴訟も昨年7月14日の判決は原告敗訴という残念で悔しい不当なものでした。直ちに東京高等裁判所へ控訴し、その進行協議日程が3月28日と決まりました。これからも弁護団と共に力を尽くし、勝利へと臨んでいきます。

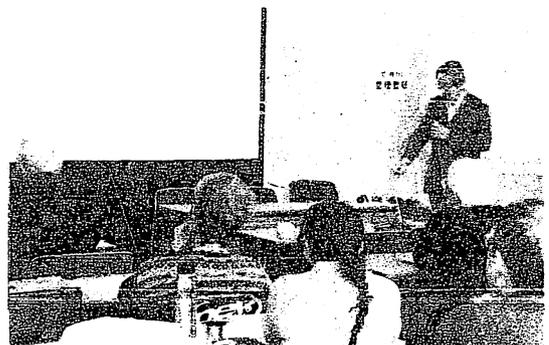
800年の歴史を誇る川原湯温泉と名勝吾妻溪谷をはじめとする歴史・文化・自然を負の遺産となるダムによって沈めることは絶対許すことはできません。そして今、水没住民の移転先である代替地の安全性にも懸念を示す声もあります。ハッ場ダム事業の客観的・科学的で公正な検証と、ダム予定地再生のための法整備を求め、衆・参議院議長宛てに請願署名活動を展開しています。

山積みするハッ場ダム問題の解決に向け、これからも皆さまの支援ご協力をお願いします。

事務局 大高文子

### 総会報告および会費納入・カンパのお願い！

去る2月12日（土）総会で、2010年度活動・会計報告と2011年度活動方針・会計予算が承認されました。（議案書参照）ハッ場ダムをめぐる情勢は極めて厳しいものがありますが、運動を積み重ねてダム中止にむけて今後も活動を進めていきます。当会の活動は皆さんの会費とカンパで支えられています。どうぞご協力をお願いします。



●年会費：2,000円 ●郵便振替/00180-2-334064 ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会

## 映画「プロジェクトV(バイオント)史上最悪のダム災害」を見て

辻 貞子



この映画は実際にあったバイオントダムの災害を描いたものだ。

1959～60年に北イタリアのバイオント川の深い溪谷にアーチ型のバイオントダムが作られた。完成後、ダムに水を貯め始めると、地震が頻発するようになり、水深130mで最初の地滑りが発生した。1963年には記録的な豪雨に見舞われる。堤防を守るために3本のトンネルから放水が行われることになった。

良心的な専門家は急激なダム水位の低下は危険だと警告し、下流域の住民の早急な避難をとダム会社の責任者に強く進言する。会社側は完成後に国に売り渡すことになっているため、その交渉が終了するまでは危険なダムと知らせるわけにはいかないと、無責任な御用学者たちの意見をたてに専門家の意見を無視し避難勧告の発表を遅らせる。やっと避難勧告が出された時には、もう最後の時が迫っていた。ダム左岸の山の木々は地震にあったように波うって揺れ動き、大きな地滑りを起こしてダムの中に崩れ落ちた。ダムからあふれ出た大量の水は堤防を越えて濁流となり下流の町や村や避難をはじめたばかりの人々を襲い、飲み込んでいった。

身重の妻の心配をしながら、ダム現場に駆けつけた技術者は山津波を目前にしてなすすべもない。彼はかろうじて生き残るが、妻とお腹の子どもを一举に失い、その遺体すら発見できなかった。ダム自体は、最上部が津波により損傷したのを除いてほとんどダメージは無かったが、下流域の2000人以上の人々が犠牲になるという大惨事となった。

このドラマにはさまざまな人物が登場する。会社の利益を人々の安全より重視するダム建設会社の重役。身の保身だけに熱心な無責任で無能な国の役人たち。良心的な研究者。本当の情報を知らされないまま危険な任務に派遣される技術者と、事実を知らされず知ろうともしなかった住民たち。私たちにも思い当たる典型的な人物像だ。

実は以前にもこの映画を見たが、その時には外国での不幸な出来事にしかすぎなかった。その後、このダムと同時代の1961年に埼玉県内に作られたアーチ型の二瀬ダム周辺でも地すべりによる地割れが頻発していること、2005年に試験的に水を貯め始めた滝沢ダムでは左岸に亀裂が入り、現在まで計5回の亀裂が発生、145億円を追加対策につぎ込んでも未だ完成していないこと、岩手・宮城内陸地震の山間部での地すべりでも初期の映像で説明はされなかったがちらりとみえたダム湖の存在、さらに八ッ場ダムがもろい地盤のうえに建設が強行されようとしていることなどを知った上で映画を見直すと、まさに自分達が直面し、恐れているテーマそのものだということが分かった。

2008年2月、ユネスコはバイオントダムを「世界最悪の人災による悲劇」のワースト5の一つに認定した。政府や関係省庁、関係業界の関係者だって知らないわけではない。

今なら、まだ将来の事故を防ぐ余地がある。それとも数年後の悲惨な事故の市民裁判に向けて現在推進の責任者達の詳細な記録をとっておいたほうがいいのだろうか。

私たちの選択がかかっている。

# 混迷深める八ッ場ダム問題

嶋津暉之

## 暗雲立ち込める八ッ場ダムの検証

今年秋に八ッ場ダムの検証の結果が出ることになっています。大島章宏国交大臣は馬淵澄夫前大臣の方針を受け継いで、八ッ場ダムについて「予断なき検証を行う」と繰り返し表明しています。八ッ場ダムは治水利水の両面で必要性が失われた事業ですから、予断を持たずに、本当に科学的で客観的な検証を行えば、中止すべきだという結果が出ることは間違いありません。

ところが、「予断なき検証」と言いながら、実際はダム推進の結論が出るような検証を行うことを河川官僚は画策しています。

利水について言えば、まず検証すべきことは各都県が行っている水需要予測が妥当か否かです。最近の水需要の実績はどこでもほぼ減少の一途を辿っていますが、各都県ともその実績と無視して水需要が今後は大幅に増加するという架空の予測を行い、その水源を八ッ場ダムに求めています。

ところが、ダム検証ではその予測の是非にはほとんど踏み込まずに、各都県が求める要求量を前提として、その水源を確保する対策案を考え、その事業費と八ッ場ダムの残事業費を比較して優劣を決める検証を行おうとしています。現状において新たに大量の水源を得る対策案は海水の淡水化などいった巨額の費用を要するものしかありませんので、それらと八ッ場ダムを比較すれば、八ッ場ダムが有利になることは目にみえています。河川官僚はそのように形だけの、検証に値しない検証を行おうとしているのです。

このように八ッ場ダムの検証をめぐる見通しは非常に暗いものになっていますので、この状況を変えるために力をつくしていかなければなりません。

## 矛盾が一層露呈してきた八ッ場ダム事業

### 仮にダム事業を再開しても完成は 2018 年度末

今年 1 月に関東地方整備局は検証の結果、仮にダム事業を再開することになった場合はダムの完成が現計画の 2015 年度末から 3 年延びて 2018 年度末になるという試算結果を発表しました。完成の遅れの理由は、民主党政権の中止宣言とその後のダム検証にあるような説明がされていますが、実際には中止宣言がなくても、八ッ場ダム完成の大幅な遅れは避けることができないものでした。

それは付替鉄道の工事の遅れにあります。八ッ場ダム本体の予定地は鉄道と国道が

通過しており、ダム本体の本格的な工事を始める前に付替鉄道、付替国道を完成させ、現鉄道、現国道を廃止しなければなりません。2015年度末のダム完成の計画では2010年末に付替鉄道、付替国道を完成することになっていました。ところが、これらの完成が大幅に遅れています。付替国道は昨年12月から一部を除く区間の供用が開始されましたが、完成までまだ1年はかかる見通しです。付替鉄道は川原湯温泉新駅付近の用地買収が難航しており、今回の試算では2013年度末完成で、3年も遅れることになっています。付替鉄道等の関連工事は政権交代後も従前どおりに進められてきています。付替鉄道が完成しない限り、ダム本体の本格的な工事を始めることができないのですから、新政権による中止宣言がなくても、ダムの完成が3年遅れることは必至でした。

実際には新駅付近の用地買収の完了の見通しは立っていませんので、付替鉄道の完成がさらに延び、それに伴って仮にダム事業を再開しても、ダム完成はもっと延びることも予想されます。

このことはダム湖観光を期待していた地元住民には大きな打撃だと思います。ダム湖ができて、その観光が成り立つ可能性はきわめて小さく、一方で地滑り災害が誘発されるでしょうから、そのことを真剣に考えるべきだと思うのですが、仮にダム事業を再開しても、ダム湖ができるのは今から8年以上先のことなのです。8年はあまりにも長い歳月です。ダム湖観光を期待した地元住民はその間、何をよりどころにして生活していくことになるのでしょうか。これからの生活設計を根底から覆してしまう問題です。

一方で、ダムの完成が延びるほど、各都県の水需要が一層小さくなり、八ッ場ダムの不要性が一層明白になっていくのです。

### **事業費の大幅増額も必至**

そして、事業費増額の問題もあります。今年1月の関東地方整備局の試算では、仮にダム事業を再開した場合は、契約実績や物価変動等による減額が21.7億円ある一方で、工事中断と工期遅延（3年）に伴う増額が55.3億円あって、差し引き33.6億円増え、さらに次の増額要因があることが示されました。

「堆砂計画の点検、『貯水池周辺の地すべり調査と対策に関する技術指針（案）・同解説』の改訂に伴う追加的な地すべり対策の必要性の点検、『宅地造成等規制法』の改正に伴う追加的な代替地の安全対策の必要性の点検の結果、事業費の変動があり得る。」

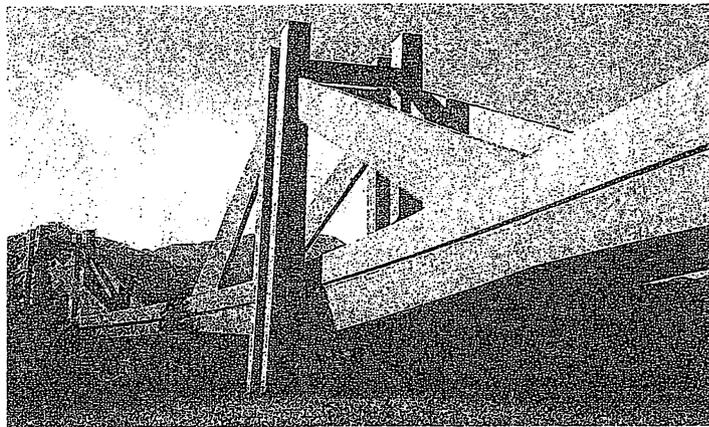
地すべり対策や、代替地の安全対策などの必要性は私たちが国交省政務三役に繰り返し要請してきたことですので、上からの指示でこのような記述が入ったようにも思います。

これらの対策費を正しく加算すれば、事業費の大幅増額は避けられません。

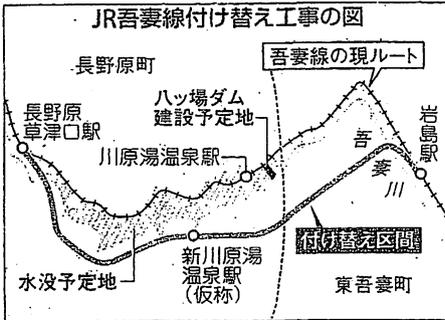
以上のように、仮にハッ場ダム事業を再開しても、地元住民の将来設計は混迷を深めるだけとなり、一方で、ダムの必要性は一層薄れ、事業費を膨張させていくことになるので、今こそ冷静な判断が必要です。

本当に科学的で客観的なダム検証を行って、ハッ場ダムを中止し、地元住民についてはダムなし生活再建対策をしっかりと進めていくことがこれから取りうる最善の道であると確信します。

最近の新聞報道より



吾妻線付け替え区間の一部となる橋りょう。新線開通のめどは立たない。まだ＝東吾妻町で



# 「ハッ場」関連の吾妻線付け替え 新線開通めど立たず

ハッ場ダム（長野原町）の建設を前提とした生活再建事業の一環として実施されているJR吾妻線の付け替え工事について、国土交通省が「目標とした〇一〇年度中の完成は困難」との判断を示し、新線開通のめどが立っていないことが分かった。同省は「早期完成を図る」としているが、工事が長期化すれば、ダム本体建設を再開した場合のスケジュールに影響する可能性がある。（中根政人）

吾妻線の付け替え工事は、同線の岩島―長野原草津間がダム完成時の水没地区を通過するため、ダム湖となる区域を迂回する形で現行のルートより南側に新線を建設し、途中の川原湯温泉駅については新駅を設置する内容。付け替え区間の延長はまた、

## 国土取得が難航

・東京新聞群馬版 二〇一一年三月五日

一〇・四に上る。一方、ダム本体工事を進めても、水没地区の住民移転や鉄道付け替え工事などが完了しなければダム湖への貯水は不可能なため、吾妻線付け替えはダム完成の絶対条件となる。国土省関東地方整備局は「一月中旬、吾妻線付け替えについて（今秋を目標とする）ダム再検証終了後の約二年間で付け替えを完了させることが望ましい」との見解を新たに示した。だが、同省ハッ場ダム工事事務所は「一部区間で土地取得が難航している」として、開通時期を明言していない。川原湯温泉駅の新駅の整備も進んでおらず、今後の工事の行方は不透明な状況のまま。

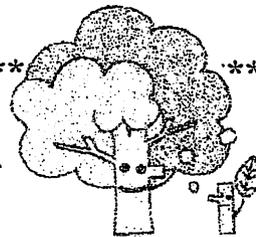
一方、ダム本体工事については〇九年九月に当時の前原誠司国交相が建設中止を宣言後に凍結された。国土省関東地方整備局は「今秋以降に本体工事に着手しても、完成は現行の計画より三年遅い（八年度にずれ込む）」と試算。政権交代による工事凍結が、ダム本体の完成時期の遅れに影響するとしている。

だが、ダム事業見直しを求める市民団体「ハッ場あしたの会」の渡辺洋子事務局長は「吾妻線の付け替えは、凍結されることなく工事が続いていた」と指摘。「ダム完成が遅れるとすれば、自民党政権時代からの付け替え工事の遅れが大きな要因の一つだ」と主張している。

## ● インフォメーション

### \*\*\*\*\*新緑の！ハッ場ダム予定地見学会\*\*\*\*\*

新緑まぶしい吾妻溪谷と水没予定地を訪ね、ハッ場問題とは何なのか、  
百聞は一見にしかず、実際にご覧になってください。



日 時 : 2011年5月15日(日) ★集合:12時40分 解散:午後4時40分予定  
集合場所 : JR吾妻線 川原湯温泉駅前 (昼食をすませて参加ください)  
見学コース : 吾妻溪谷、川原湯温泉街、水没地区の農村地帯、代替地、付け替え鉄道  
/国道工事現場など

参加費: 2,000円 (バス代、資料代)

■東京方面からの交通: JR 草津特急

【行き】上野発 10:00 赤羽 10:10 大宮:10:26 (川原湯温泉 12:23着)

【帰り】川原湯温泉 16:52 大宮 18:50着 赤羽 19:06着 上野 19:18着

主催:ハッ場あしたの会 【問い合わせ・申し込み】E-mail [info@yamba.net.org](mailto:info@yamba.net.org)

TEL/FAX 027-253-6706 携帯:090-612-7073 \*申込〆切:4月30日

\*水没予定地にある川原湯温泉の宿泊ご案内も受け付けます。

### \*\*\*\*\*各地の裁判日程\*\*\*\*\*

群馬 3月11日(金)午後2時00分 東京高裁 進行協議

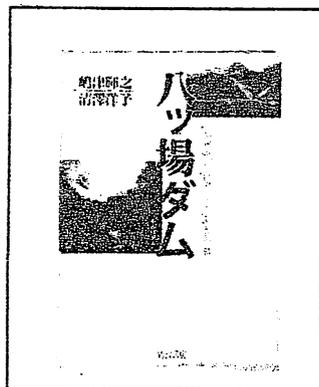
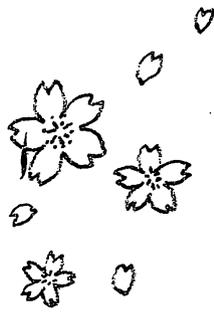
栃木 3月24日(木)午後1時30分 宇都宮地裁 判決

★埼玉 3月28日(月)午前10時00分 東京高裁 進行協議

東京 4月27日(木)午後4時00分 東京高裁 進行協議

茨城 5月19日(木)午後3時30分 東京高裁 進行協議

千葉 6月22日(木)午後4時00分 東京高裁 進行協議



#### 新刊案内

2011年1月岩波書店刊

#### 『ハッ場ダム 過去、現在、そして未来』

著者 嶋津暉之・清澤(渡辺)洋子

・特別価格・  
送料込 2,000円

半世紀にわたる資料とデータをもとに利水にも治水にも無用な巨大ダムを徹底検証\*徹底解説、お求め希望の方は埼玉の会事務局(大高)まで連絡ください。TEL・FAX 048-831-4891

## ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会

事務局:さいたま市浦和区北浦和5-15-41-221 大高 方 TEL&FAX:048-831-4891

★ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会 <http://yambasaitama.blog38.fc2.com/>

★ハッ場ダム訴 <http://yamba.sakura.ne.jp> ★ハッ場あしたの会 <http://www.yamba.net.org>